



～乃木地区で暮らしていた弥生の人々について考えてみよう～

たわやまいせき      じごでいせき      ともだいせき

## 田和山遺跡と神後田遺跡と友田遺跡

神後田遺跡と田和山遺跡は500m程離れています。丘陵に登るとお互いがよく見えます。田和山遺跡は弥生時代前期末から中期後葉の遺跡です。前期末に3重環壕のうち、一番頂上に近い環壕が作られました。そのあとに外側の環壕がつくられ、3重環壕となりました。田和山遺跡では弥生前期末の住居跡はみつかりませんが、弥生中期に環壕の外側に集落が形成されたことがわかっています。

友田遺跡は田和山遺跡と神後田遺跡の中間に位置する遺跡です。弥生時代前期末～後期にかけてのお墓がみつかりました。お墓から管玉や勾玉といった副葬品や、たくさんの石鏃も発見されました。田和山遺跡や神後田遺跡が機能した時代と重なり、集落に住んだ人々が埋葬されていたのでしょうか。

田和山の環壕が作られ始めたころ、人々はどこに住んでいたのでしょうか。神後田遺跡はそんな田和山の謎を解明するうえで大きな意味をもちます。



発掘調査時の田和山遺跡

松江市まちづくり文化財課埋蔵文化財調査室

## じごで 神後田遺跡発掘調査現地説明会



